

## 5. 概算事業費及び財源について

### 5.1 概算事業費について

新体育館の建設にかかる概算事業費については、類似施設の建設単価を参考に、現在想定している面積、機能等から算出しました。以下の表が、概算事業費の内訳です。

詳細な建設事業費については、今後の財政状況等を踏まえ、基本設計・実施設計の中で具体的な検討を行うものとします。

なお、建設にあたっては、建設費や維持管理費についても十分考慮し、低コストで高品質な施設整備を目指します。

表 5-1 概算事業費

項目	規格	規模	概算事業費(万円)
用地費	-	2.2ha	-
建築費（アリーナ）	延床面積(建築面積 5,500 m <sup>2</sup> )	8,300 m <sup>2</sup>	332,000
（弓道場）	敷地面積 4,000 m <sup>2</sup>	4,000 m <sup>2</sup>	12,800
什器備品	トレーニング器具	-	5,000
	スポーツ器具、ロッカー、机備品等	-	10,000
外構費	外部植栽, フェンス等	-	3,300
駐車場舗装	500 台確保	12,500 m <sup>2</sup>	20,700
建築設計費	基本、実施設計	-	12,000
外構、駐車場設計			800
合計			396,600

### 5.2 財源に関する考え方

建設事業費にかかる財源は、学校施設環境改善交付金や社会資本整備総合交付金など国の交付金や補助金等の活用を検討し、残りの事業費については地方債や市費（一般財源）を充てる予定です。

### 5.3 事業の具体化に関する考え方

新体育館建設事業については、市の実施計画各種事業や公共施設等総合管理計画等との調整を図りながら、小郡市総合振興計画や都市計画マスタープランなど市上位計画への位置付けを行い、事業を推進することとします。

また、建設に向けた各種計画の調整と併せ、財政計画を詳細に検討していきます。